

令和4年度 三隅まちづくりセンターの主な取組

事業名

lienmarche リアンマルシェ

P

●事業実施に至った背景、目的

コロナ禍の影響でまちづくりセンター事業や地区まちづくり推進委員会の事業、自治会の事業など地域内のあらゆる事業の縮小や中止が相次いだことで地域住民の交流する機会が失われていた。会話からも「さみしいね」と残念がる声や「行事が少なくて忙しくないから嬉しい」など様々な声も聞こえていた。そこで感染予防対策を行えば事業が開催できること、人との交流の楽しさを蘇らせること、地域の一役を担う機運を上げることを目的にまちづくりセンターと地区まちづくり推進委員会が共催してリアンマルシェを新たに企画した。事業の目的としては①地域の人々の交流の場所づくり②地域の美味しい、楽しい魅力発見の応援③当センター利用者の新規開拓④外部委託を利用し、既存の地域事業を見つめ直す この4点を掲げて開催した。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- まちづくりコーディネーターに協力をもちかけて定期的に相談しながら計画を進めた。
- 三隅地区まちづくり推進協議会へはボランティアスタッフの募集と依頼を書面で行った。
- センター利用者や一般住民へ広報紙や口コミでボランティアスタッフの募集を行った。
- 出店者には電話と書面で出店依頼を行った。
- 中学校へはフリーマーケット出店とボランティアスタッフの募集ちらしの配布依頼を行った。
- ピアノ教室へは電話と書面で出演依頼を行い、打合せ日を設定して行った。

D

●事業の概要

- ①町内外のお店（若い世代に注目されているお店など）による出張販売。
- ②フリーマーケット
- ③リハビリテーションカレッジ島根のワークショップ
- ④町内ピアノ教室によるストリートピアノ

C

●事業実施後の振り返り

当日アンケート調査を行い、事業の振り返りを行った。

参加者628人 回答数143名

出展者24店舗 回答数18店舗

結果から20～30代の世代が多かったことや、初めて事業に参加した人が多かったことが解った。自由記述欄からは、人との出会いが影響して自身が活気づいていることが解った。そのことから目的に添った事業になったと感じた。しかし、ボランティア意識を同項目ではボランティアとして参加するまでの意識にはなっていない。今後の課題として取り組む事で地域の一役を担う地域リーダーとなる人材を発掘していきたい。

A

●令和5年度以降の方向性

令和5年度は他の事業との兼ね合いを考慮して開催の有無を決定する。今後も柔軟に事業を継続していくことで三隅地区のまちづくり主団体である、まちづくり推進協議会とその他の団体や個人、企業を結び繋げていく。

三隅地区全体を総括した地域づくりになるよう推進していく。

